

中学校第1学年 美術科学習指導案

題材名： デザイン「なるほど絵文字」をつくろう

東広島市立八本松中学校 教諭 金本 美貴

題材について

本題材では、中学校学習指導要領美術の第1学年「A表現」(2)の(ア)「目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ること」、 「A表現」(3) (ア)「形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫をして表現すること」を受けて設定した。デザインされた文字の造形性や機能性について再認識し、伝達の表現に関心を持ち、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を練り、材料に合った表現方法を工夫して創造的に表現できるようになることがねらいである。

絵文字を構想する際には「面白さ」「美しさ」などの、構成によってもたらされる特質や感情を理解し、洗練されたデザインを追求することが必要である。また、制作に当たってはポスターカラーの特性を生かす表し方を考えて、創造的な技能を発揮する必要もある。これらのことから、表現意図を明確にした発想や構想の能力、及び表現技能を伸ばすために有効な題材である。

アンケート調査結果からみる課題

事前に行ったアンケートにおいて、「美術の授業が好き」と答えた本学年の生徒は97%であった。また、「表現方法や材料や用具の生かし方などを、あきらめずに考えようとしている」生徒は91%で、授業に積極的に取り組む生徒が多いことが分かる。一方で、意欲はあるが「自分のイメージに合った表現ができない。」と思っている生徒が半数を占めている。その理由は「頭の中では考える事ができても、実際に表現するとなるとうまく表現できない」がほとんどであった。「よいアイデアを出すためには、どうしたらよいと思いますか」という問いに対しては、「頭の中で字の意味やよく使う言葉などをイメージして、思い浮かべながら作ったら楽しいと思う」などの回答が返ってきたが、実際には思うようにアイデアが浮かばない生徒もいる。授業の様子を見ると、作品を制作する際に、何を描けばよいのか思い浮かず、つまづく生徒も多い。学習内容の定着についても個人差があり、特にアイデアスケッチでのつまづきがよく見られる。以上のことから、本学年の生徒には、見方を変えて思いがけない美しさや面白さを発見し、創造的な発想・構想をして表現する力、また、自分の心の中にあるイメージに合った表現をしようと工夫し作品を制作する力に課題があると考えられる。

指導改善のポイント

上記の課題を踏まえ、「ものの見方や感じ方を広げること」と「イメージを具現化させるための手立てを充実させること」を改善のポイントとした。前者については、具体的には、授業の振り返りや発表を多くの場面で取り入れ、作品を通して気付いたことや感じたことを、豊富な「ことば」で表現させていく。このことにより、生徒たちは他者の美術的なものの見方や感じ方、表し方に触れ、自分の見方や感じ方などを深めることができると考えている。本時にもこの活動を組み込んでいく。後者については、イメージ具現化のための支援として、まず、ばらばら絵文字などのクイズに取り組みせ、絵文字の面白さや良さを十分に味わわせる活動を取り入れる。このことにより作品を具体的にイメージすることができ、自分らしい豊かな表現を構想できると考えている。さらに、これまでに学習した色の性質や分類についての基礎的な知識の学習を思い出させ、配色などに応用できるよう指導する。このことにより、生徒は表現の楽しさを味わいながら、創意工夫して制作に取り組むことができると考えている。

また、「ことば」での表現を記録し振り返りに生かすため、本題材の全時間を通して使えるポートフォリオ形式のワークシートを作成した。まず、題材提示の初めに絵文字のデザインを想定した問題（パフォーマンス課題）を示し、イメージにあった表現ができるようワークシートに表現させる。最後には、再びパフォーマンス課題を示し、自分のイメージに合った表現をさせる。同時に、評価規準に基づいたルーブリックに従って評価し、それを基にきめ細かい指導を行っていきたい。

題材の目標

- 伝達の表現に関心を持ち、文字の表す意味からイメージをふくらませて表現の構想を練り、材料に合った表現方法を工夫して創造的に表現する。

題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p>○見る人の気持ちを考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとしたり、文字やイラストを工夫して表現しようとしていたりしている。</p> <p>○文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さやよさを味わおうとしている。</p>	<p>○文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さや美しさを伝えるために、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</p>	<p>○アイデアスケッチを描くことを通して表したいイメージを具現化している。</p> <p>○ポスターカラーの特性を生かしながら表現意図に合う方法を創意工夫するなどして表現している。</p>	<p>○文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の工夫を感じ取り、伝達のためのデザインの面白さやよさを味わっている。</p>

指導と評価の計画

(全10時間 本時 4 / 10)

次	学習内容 (時数)	評 価				評 価 規 準	評価方法
		関	発	創	鑑		
一	ばらばら絵文字クイズに取り組み、作品に触れる中で絵文字表現に関心を持つ。 ※パフォーマンス課題 (1)	○				文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さやよさを味わおうとしている。	行動観察
二 三	初発のアイデアを複数スケッチに表す。 教師が提示する参考作品を鑑賞し、目的や条件、工夫点について考える。 (2)	○				見る人の気持ちを考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとしたり、工夫して表現しようとしていたりしている。	行動観察 ポートフォリオ ワークシート
四 (本時1/1)	考えたことをもとに作品化するアイデアを絞って決定し、スケッチを練り上げる。 ※パフォーマンス評価 (1)		○			文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さや美しさを伝えるために、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。	行動観察 パフォーマンス評価 ポートフォリオ
五	作品化にあたって工夫したい点を文章でまとめる。 (1)		○			アイデアスケッチを描くことを通して表したいイメージを具現化している。	ポートフォリオ
六 九	構想を基に、学習した技能を生かして制作する。 (4)			○		ポスターカラーの特性を生かしながら表現意図に合う方法を創意工夫するなどして表現している。	行動観察 作品
一〇	ワークシートに作品写真を貼り、学習の始めと終わりを見渡して成長したと思うことを文章でまとめる。 (1)				○	文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の工夫を感じ取り、伝達のためのデザインの面白さやよさを味わっている。	ポートフォリオ

本時の学習

(1) 本時の目標

自分の考えやイメージをまとめ、創意工夫して絵文字のデザインを考えよう。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (判断基準)	評価方法
<p>1 前時までの復習をする。 (5分)</p> <p>2 本日の目標の確認をする。 (1分)</p>	<p>○前回までの学習内容と、もっと「なるほど！」に近づけるための工夫点を確認し、本時の学習目標を設定する。</p>		発表
自分の考えやイメージをまとめ、創意工夫をして、絵文字のデザインを考えよう。			
<p>3 教師が提示する参考作品を鑑賞し目的や条件、工夫点について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用する。 (29分) ・考えたことを「絵文字」にする。自分らしい表現を考え、構想を練る。 ・アイデアを絞って決定し、スケッチを練り上げる。 ・絵文字のデザインを考える。 <p>4 作品について発表する。 (10分)</p>	<p>○参考作品「絵文字」を提示。</p> <p>○文字の形や色、工夫点に着目させ、見る人が「なるほど！」と思える作品の共通点を考えさせる。</p> <p>○ねらいに応じた表現を見つけ出し、工夫しながら制作させる。</p> <p>○イメージがふくらみにくい生徒に対しては、基になる文字からイメージしたことを、どのような形で表せるか、どんな色にしたらイメージに合うかを対話の中でつかませる。</p> <p>○机間指導の際、発表させたい作品をピックアップしておく。</p> <p>○自分の考えと比較しながら聞かせるようにする。</p> <p>○それぞれのデザインの工夫点を挙げさせ、その工夫点を整理することで美しく構成するための要素を確認させ、自分の作品に取り入れられるようにする。</p>	<p>文字の表す意味とイラスト表現が一致した絵文字の面白さや美しさを伝えるために、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</p> <hr/> <p>※判断基準</p> <p>A評価 作品の意図を明確に伝えるために、形や色彩などの効果を生かし、分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</p> <p>B評価 分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</p> <p>C評価 表現の構想を練った作品となっていない。</p>	<p>ポートフォリオパフォーマンス評価行動観察作品</p> <p>発表</p>
<p>5 本時のまとめをする。 (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを提出する。 ・次時の活動内容を説明する。 	<p>○本時の成果と課題を具体的に指摘し、次回につながるような示唆を与える。</p>		ポートフォリオ